

第66期報告書

IMV 通信

平成23年10月1日 ▶ 平成24年9月30日

SECURE THE FUTURE

FIRST choice
for our partners

Future

Integrity

Reliability

Strength

Technology



IMV 株式会社

(証券コード：7760)

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに当社グループ第66期（平成23年10月1日から平成24年9月30日まで）
IMV通信をお届けいたします。

当期の決算概況について

当社グループは、海外事業及び国内受託試験事業の体制強化に積極的に取り組んでまいりました。欧州地域における拡販と研究開発に関する関係機関との連携強化を目的とした英国駐在事務所IMV CORPORATION EUROPEAN TECHNICAL CENTREの設立に引き続き、東南アジア地域における振動シミュレーションシステムのメンテナンスサービス、振動受託試験の提供を目的としてタイ現地法人IMV (THAILAND) CO.,LTD.を設立いたしました。また、名古屋テストラボにおける振動試験装置の増設（自動車関連業界の受託試験ニーズの増加に対応）及び東京テストラボにおける国内最大の動電振動試験装置の増設（航空・宇宙電気設備等の大型の試験対象品の振動試験の需要増加に対応）をそれぞれ実施いたしました。

業績面につきましては、振動シミュレーションシステム及びテスト&ソリューションサービスにおいて、自動車関連業界を中心に受注が好調に推移しており、前連結会計年度を大幅に上回る売上高となりました。

以上の結果、当社グループの売上高は5,900百万円（対前期比25.8%増）、経常利益は658百万円（対前期比87.2%増）、当期純利益は360百万円（対前期比97.2%増）となりました。

次期の見通しについて

当社グループは、振動シミュレーションシステムにおいては、海外販売を強化し、またオールウェザーシミュレーションシステム（複合環境試験装置）の受注が増加しつつあり、売上は順調に推移する予定であります。メジャリングシス

テムにおいては、「カードパイプロAir 2」等の新製品の販売強化に取り組んでまいります。テスト&ソリューションサービスにおいては、当期に実施いたしました大型加振機及び耐震試験機等の設備投資が、売上に貢献する予定であります。一方で、海外事業への取り組みを加速するための人員増、テスト&ソリューションサービスの増強に伴う減価償却費の増加等により費用増加を見込んでおります。以上により、売上高につきましては6,000百万円（前期比1.7%増）、経常利益500百万円（前期比24.1%減）、当期純利益300百万円（前期比16.8%減）を見込んでおります。

配当金について

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして認識しており、将来の事業展開と経営体質の強化のために内部留保を確保しつつ、安定的かつ継続して配当を実施することを基本方針としております。また、内部留保資金につきましては、開発・製造体制強化のための設備投資や研究開発資金として活用し、経営基盤の強化とより一層の事業発展のために有効活用してまいります。

以上により、当期の剰余金の配当は、1株につき5円（うち、55周年記念配当1円）であり、次期の剰余金の配当は、4円を予定しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役会長

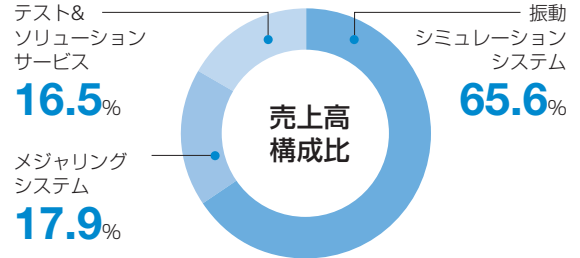
小嶋 成夫

代表取締役社長

周 存 二 朗

品目別の概況

「エコシェーカー」の販売が好調。
テストラボは、過去最高の売上高。



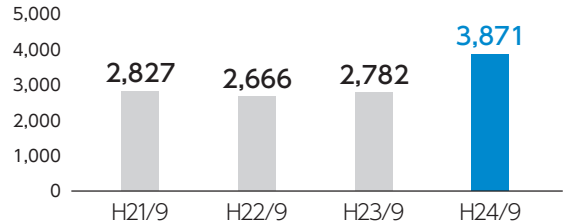
振動シミュレーションシステム

売上高 (単位：百万円)

振動シミュレーションシステム分野の売上高は3,871百万円（対前期比39.1%増）となりました。

多軸振動試験装置の売上及び「エコシェーカー」（省エネ型振動シミュレーションシステム）の売上が順調に推移しており、前期を上回る結果となりました。

海外におきましても、韓国、ASEAN地域を中心に受注が増加傾向にあります。

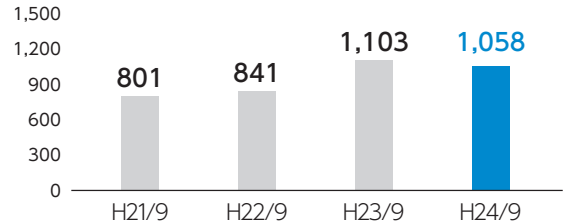


メジャリングシステム

売上高 (単位：百万円)

メジャリングシステム分野の売上高は1,058百万円（対前期比4.1%減）となりました。

新型ポータブル振動計「スマートバイプロ」の販売を開始し、順調に売り上げを伸ばしておりますが、一方で、震災後に増加した火力発電所等への振動監視装置の納品が一巡したため、売上高につきましては前期から減少いたしました。

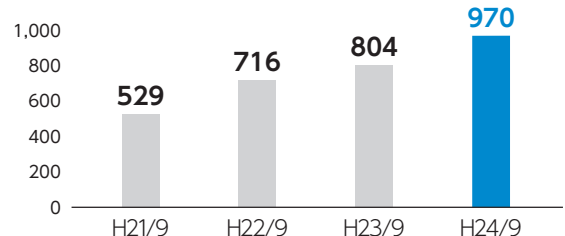


テスト&ソリューションサービス

売上高 (単位：百万円)

テスト&ソリューションサービス分野の売上高は970百万円（対前期比20.7%）となりました。

自動車関連業界を中心とした受託試験ニーズの増加にあわせて鉄道車両用機器向けの試験も堅調に推移したことにより、過去最高の売上高という結果となりました。



連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

POINT ①

● 純資産

純資産は前期と比べ300百万円増加しました。この主な要因は利益剰余金の増加295百万円によるものです。負債の増加により、自己資本比率は前期と比べ1.0ポイント減少し35.9%となりましたが、1株当たり純資産は前連結会計年度末の146円93銭に対し、165円32銭となりました。

POINT ②

● 営業利益

営業利益は666百万円となりました。海外進出に向け人材確保による労務費の増加、新製品開発による研究開発費等の経費の増加等がありました。受託試験等の比較的利益率の良い事業の構成割合が増加したこと等により、前期と比べ291百万円の増益となりました。

POINT ③

● 営業活動によるキャッシュ・フロー

788百万円のキャッシュが増加しました。これは税金等調整前当期純利益653百万円、減価償却費191百万円及び仕入債務の増加448百万円等による増加要因が、売上債権の増加334百万円、たな卸資産の増加160百万円及び法人税等の支払額172百万円等による減少要因を上回ったことによるものです。

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当連結会計年度 (平成24年9月30日)	前連結会計年度 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産	4,519,798	3,735,417
現金及び預金	1,117,409	858,556
受取手形及び売掛金	2,005,300	1,670,619
有価証券	—	3,840
たな卸資産	1,200,050	1,039,294
その他	198,438	164,305
貸倒引当金	△1,399	△1,199
固定資産	3,017,552	2,781,048
有形固定資産	2,874,410	2,641,133
無形固定資産	22,996	31,361
投資その他の資産	120,144	108,552
資産合計	7,537,350	6,516,465
負債の部		
流動負債	4,172,772	3,043,476
支払手形及び買掛金	1,370,623	869,145
短期有利子負債	1,974,687	1,622,878
その他	827,461	551,450
固定負債	662,341	1,071,437
長期有利子負債	367,642	781,754
その他	294,699	289,683
負債合計	4,835,113	4,114,913
純資産の部		
株主資本	2,696,770	2,401,660
資本金	464,817	464,817
資本剰余金	557,563	557,563
利益剰余金	1,783,717	1,488,607
自己株式	△109,327	△109,327
その他の包括利益累計額	5,467	△107
純資産合計	2,702,237	2,401,552
負債純資産合計	7,537,350	6,516,465



連結損益計算書

(単位：千円)

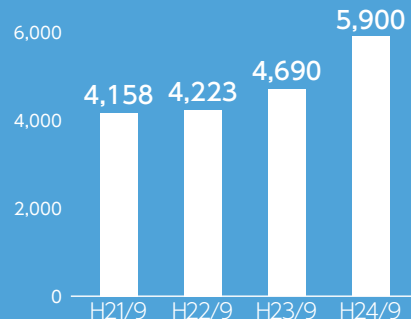
科目	当連結会計年度 平成23年10月1日から 平成24年9月30日まで	前連結会計年度 平成22年10月1日から 平成23年9月30日まで
売上高	5,900,074	4,690,877
売上原価	3,722,340	3,094,419
売上総利益	2,177,733	1,596,458
販売費及び一般管理費	1,511,609	1,222,101
→② 営業利益	666,123	374,356
営業外収益	26,721	24,496
営業外費用	34,081	47,037
経常利益	658,764	351,816
特別利益	—	222
特別損失	5,458	24,960
税金等調整前当期純利益	653,305	327,078
法人税、住民税及び事業税	293,092	121,397
過年度法人税等	—	27,432
法人税等調整額	△277	△4,598
少数株主損益調整前当期純利益	360,490	182,847
当期純利益	360,490	182,847

連結キャッシュ・フロー計算書

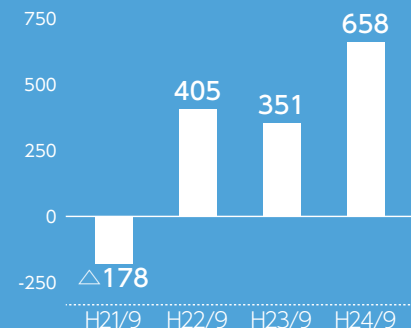
(単位：千円)

科目	当連結会計年度 平成23年10月1日から 平成24年9月30日まで	前連結会計年度 平成22年10月1日から 平成23年9月30日まで
→③ 営業活動によるキャッシュ・フロー	788,642	378,093
投資活動によるキャッシュ・フロー	△411,030	138,124
財務活動によるキャッシュ・フロー	△127,543	△945,147
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,277	△588
現金及び現金同等物の増減額	251,346	△429,518
現金及び現金同等物の期首残高	670,574	1,100,093
現金及び現金同等物の期末残高	921,920	670,574

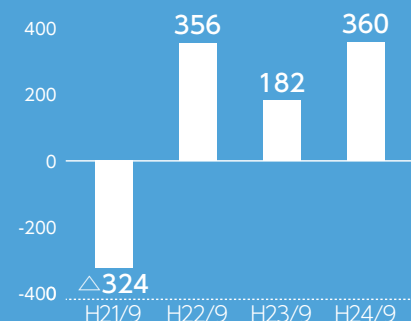
売上高 (単位：百万円)



経常利益 (単位：百万円)



当期純利益 (単位：百万円)



無線型振動計測
「カードバイブロAir 2」発売

01

2012年12月、無線型振動計測「カードバイブロAir 2」を発売いたしました。

「カードバイブロAir 2」は以下の4点において従来製品から大きく改良されました。

- ①Android端末対応によるWiFi無線を採用し遠隔測定を可能にした。
- ②OA計測時のデータ表示までの時間を約10分の1に高速化した。
- ③重さ約145グラムの軽量化、コンパクトサイズ化を実現した。
- ④単4電池2本で連続6時間動作が可能な低消費電力を実現した。

これらの改良により、Android OSの画面上で、素早く振動波形を確認し、ISO基準に応じた設備の状態を診断することが可能であり、振動計測がリアルタイムとなりました。また、無線型に変更したことにより、有線では測定が困難であった高所や危険な設備での保守点検や振動測定を実施することが可能になりました。今後は国内販売及び海外でのOEM販売を積極的に進め、年間1,000台程度の売上目標を目指しております。



Squeak and Rattle試験設備

02

当社グループは、自動車のSqueak and Rattle（きしみ音やガタ音）を測定するシステムを、名古屋テストラボに増設いたします。ヨーロッパでは、車内のプラスチックが擦れ合って生じるきしみ音やガタ音への対応が重要視されており、昨今ハイブリッド車及び電気自動車の普及により走行時の音が非常に静かになってきている環境下で、日本においても同様なニーズが高まることを予想しております。当社としましては、車両に搭載する全ての製品を対象とした異音評価試験に取り組んでまいります。

なお今回の名古屋テストラボへの設備投資は、国内の自動車メーカーに身近で実際に試験を実施いただき、試験のニーズを再確認いただくことを目的としています。



●試験設備のイメージ図

ドイツ販売拠点の開設（予定）

03

当社グループは、ヨーロッパ市場におけるビジネス拡大を加速するため、欧州最大の市場であるドイツ南部に位置するミュンヘンに販売拠点を設立予定です。現地における直接的な販売・マーケティング活動を展開し、ドイツのみならず周辺諸国への振動シミュレーションシステム拡販を進めていきます。



●ドイツ販売拠点（予定）外観

会社情報・株式情報

会社情報 (平成24年9月30日現在)

商号 IMV株式会社 (アイエムブイ)
 設立 1957年4月
 資本金 4億6,481万円
 従業員数 171人 (単体140人)

● 事業所

本社・大阪営業所・大阪テストラボ・技術本部
 〒555-0011 大阪市西淀川区竹島二丁目6番10号

東京営業所
 〒105-0013 東京都港区浜松町1丁目10番17号 向陽ビル9階

東京エンジニアリング・サービス
 〒146-0082 東京都大田区池上8丁目27番12号

東京テストラボ・ソリューション部
 〒229-0205 神奈川県相模原市緑区日連870

名古屋営業所・名古屋テストラボ
 〒470-0207 愛知県みよし市福谷町根浦106-1

IMV CORPORATION EUROPEAN TECHNICAL CENTRE

Suite 10, Devonshire Business Centre, Works Road Letchworth,
 Hertfordshire SG6 1GJ, United Kingdom

● 役員 (平成24年12月21日現在)

代表取締役会長	小嶋	成夫
代表取締役社長	岡本	二郎
取締役	草野	欽也
取締役	小嶋	健太郎
常勤監査役	高嶋	文雄
社外監査役	寺田	康男
社外監査役	橋本	光

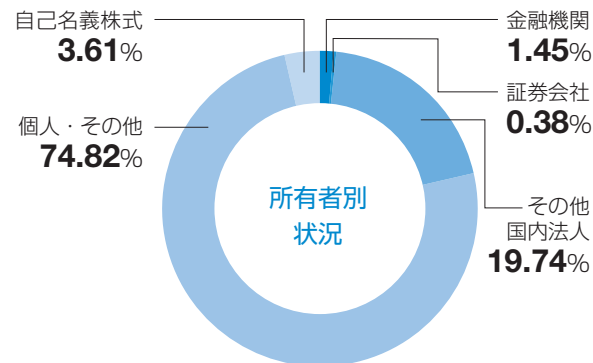
● 執行役員 (平成24年12月21日現在)

執行役員 (経営企画本部長)	白星	政和
執行役員 (技術本部長兼カスタマーサービス本部長)	桂井	徹
執行役員 (課長兼テストラボソリューションセンター本部長)	青木	秀修
執行役員 (海外マーケティング担当)	五十嵐	敏和
執行役員 (海外事業本部長)	小嶋	淳平

株式情報 (平成24年9月30日現在)

発行可能株式総数 67,820,000株
 発行済株式の総数 16,345,063株
 (自己株式611,953株を除く)
 株主数 1,001名

● 株式分布状況



● 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
小嶋成夫	2,436	14.9
有限会社SEIKO	1,908	11.7
IMV従業員持株会	1,504	9.2
小嶋淳平	769	4.7
エスペック株式会社	766	4.7
IMV取引先持株会	722	4.4
本田清隆	423	2.6
小嶋健太郎	373	2.3
上野和良	297	1.8
有限会社アフロ	280	1.7

(注) 持株比率は、自己株式(611,953株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	12月中
定時株主総会の基準日	9月30日
配当金受領株主確定日	期末配当金 9月30日 中間配当を行う場合は3月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取扱事務は三井住友信託銀行株式会社の全国 各支店で行っております。
単元株式数	1,000株
上場証券取引所	大阪証券取引所JASDAQ (スタンダード) (証券コード: 7760)
公告方法	電子公告の方法により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができない場 合は、日本経済新聞に掲載して行います。 公告掲載URL http://www.imv.co.jp/

各種お手続き用紙のご請求は、下記のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。

☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)

<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

最新の事業内容、製品・技術紹介、会社概要、IR情報等は
当社ホームページでご覧いただけます。

<http://www.imv.co.jp/>

【住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について】

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、
特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

【未払配当金のお支払について】

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株主の皆様からの声をお待ちしております。

当社では株主の皆様のご意見を今後のIR活動に活かすため、
アンケートをお願いしております。

アンケート専用フォーム

<http://www.imv.co.jp/ir/questionnaire>

にてご用意しております。率直なご意見をお聞かせください。

※株主アンケートは当社IRサイトからもアクセスできます。



この報告書は、環境に配慮し、
植物油インキを使用しております。